表紙共　１１　頁

JDSF　ジャッジコンピュータシステム

（ リアルタイム採点システム ）

取扱説明書

改版日付	改版内容
平成17年 4月 1日	初版

■　ジャッジコンピュータの操作方法

１．概要

審判員の皆さんの審査結果がジャッジコンピューターから直接採点システムへ通信、入力されますので、以下に説明する操作方法にしたがって正しく操作されるよう、お願いいたします。

お使いいただく前の注意

- **操作中の落下事故を防ぐため、必ずストラップを首にかけてください。**
- **必ず、専用のペンを使って画面上をクリック操作してください。**
  ご自分のボールペンなどはパネル面を傷つける恐れがありますので使わないでください。
- **側面、裏面のスイッチ類には絶対に触れない、または操作しないでください。**
- **以下に記載の操作方法以外のボタン類をクリックすると、別な操作画面に飛んでしまう場合がありますので、不必要なクリックは避けてください。**
- **予想外の画面が出てきた場合や、操作がわからなくなった時は、直ちにフロアサイドに待機しているサポート係員に問合せてください。**

■　予選 ～ 準決勝　（ チェック法 ）

1.　開始画面

● **係員からジャッジコンピューターを手渡された時には、下記の画面が表示されています。**

↓　待機画面　：　『 地球 』マークをクリックして下さい。右のシステム画面が表示されます。

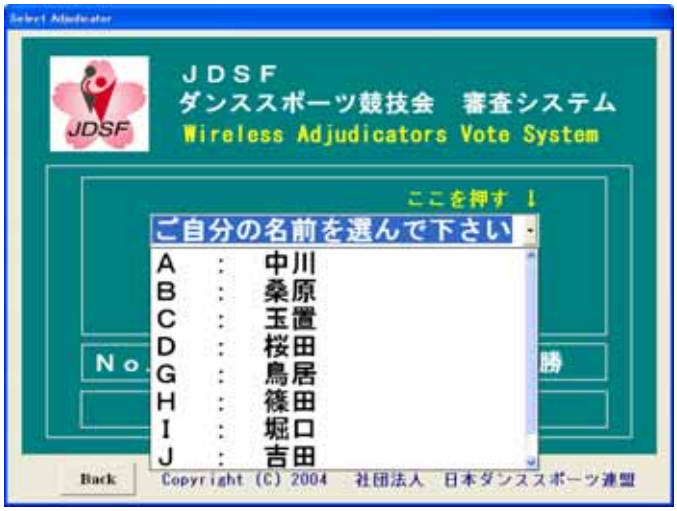
↓　システム画面

● **画面上の競技番号・競技名称・競技ラウンドをご確認下さい。**
これから始まる競技が表示どおりの場合は、「開始」をクリックします。
そうでない場合にはこの画面のまま、暫くお待ち下さい。

2．　ジャッジ名の選択

① 『ご自分の名前を選んでください』の横にある ▼ 部分をクリックします。

② ジャッジリストが表示されますので、ご自分の名前をクリックします。



③ 選択した名前に間違いが無ければ、『決定』をクリックします。

④ 「貴方は、○○さん　ですか？」の表示が出ますので、間違いなければ、『確認』をクリックして
ください。もし違う場合は、『再選択』をクリックして、２．①の画面から再度操作してください。

《注意》 ジャッジ名の選択は、各競技の都度、必ず行ってください。

３．　審査画面

① ジャッジ名選択が終わると、自動的に下記の審査画面が表示されます。
画面上には、競技 No、競技名、ラウンド、UP 数、ヒート／出場組数、曲名、ジャッジ名、そして
出場選手の背番号が表示されています。

● また、既にマークした組数が赤数字で、残りの UP 数が緑数字で、（ ）内の青数字で保留（UP 候補者）
の組数が表示されます。

② 審査

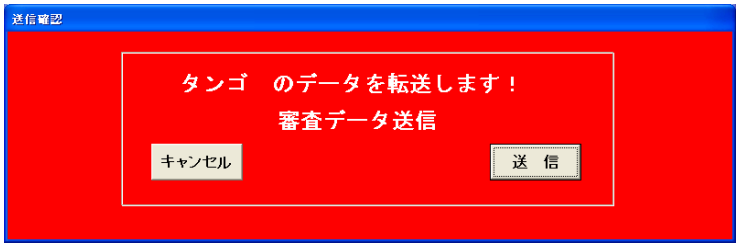
- **アップのマーク　：　UP したい選手の背番号をクリックすると、下の画面のように背番号数字が黄色に変わります。**
- **マーク取消し　　：　黄色くなった番号を再度クリックすると、マーク取消しとなり黄色が消えます。**

複数ヒートの場合はヒート毎にこのボタンを押下して次のヒートに進みます。

- **審査完了　　：　指定アップ数をマークすると、上の画面のように赤数字が上のアップ数と同じになり、緑数字（残り）が 0 となって、背番号外枠が空色に変化します。このマークで良ければ、画面右下にある『 提出 』ボタンをクリックします。**

③ 審査結果送信

- **データ送信　　：　下の送信画面が表示されますので、『 送 信 』ボタンをクリックすると審査結果が直ちに採点システムに送信されます。**



《 注意 》　「送信」ボタンを押すと、審査内容は採点システムに取り込まれ、その後の変更はできませんので、よく確認のうえ、「送信」してください。

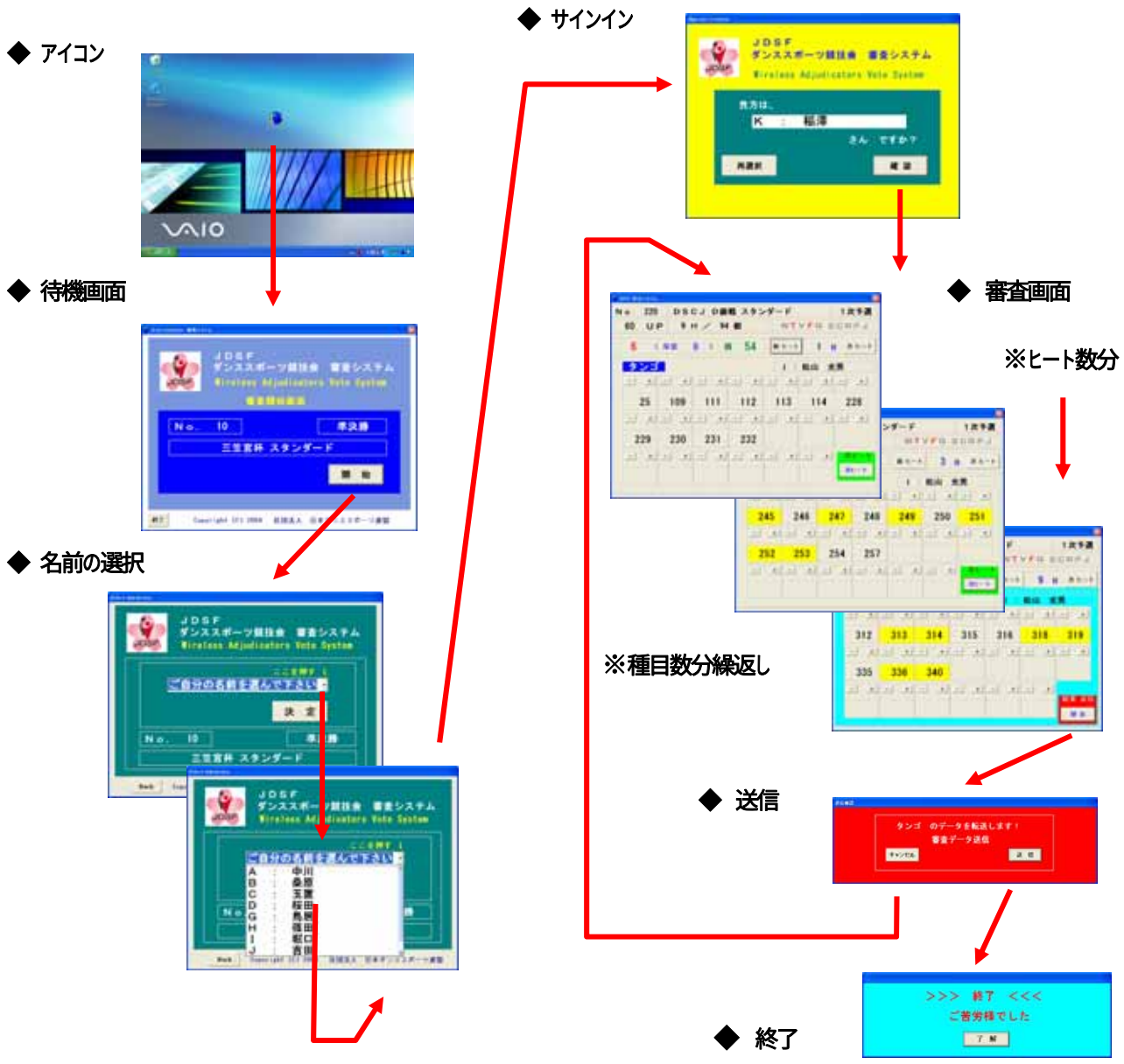
④ 審査終了

- 送信後は次種目が有る無しによって変わります。尚、送信は瞬時に行われますが、場合によっては順番を待つ場合が有ります。少しお待ち下さい。

- **次種目へ　　：　送信後次種目が有る場合には再び、次のダンスの第１ヒート目に進みます。**

- **審査終了　　：　全種目の送信が完了すると、下の画面が表示されて審査終了となります。「了解」をクリックして、最初の開始画面に戻ります。**

■ 競技の流れ （ 復習 ）



⑤ 審査データが誤りの場合

● マーク数が不足の場合　　（右の例では５組マーク、残り１組）

この状態で「決定」をクリックすると、下のような「警告」が表示されるので、「了解」をクリックして、以前の審査画面に戻ります。

● 指定組数以上の場合　：　審査画面での指定組以上クリックした場合も同様に、送信も受付けません。

⑥ 審査の途中経過で、保留マークをつけたい場合

● 各背番号枠の上部にある『＋』『－』のボタンで保留検討マークを付けることが出来ます。
『＋』ボタンをクリックすると、赤い ●マーク（保留マーク）をつけることができます。
『－』ボタンをクリックすると、既につけた保留マークを１つずつ消していくことができます。

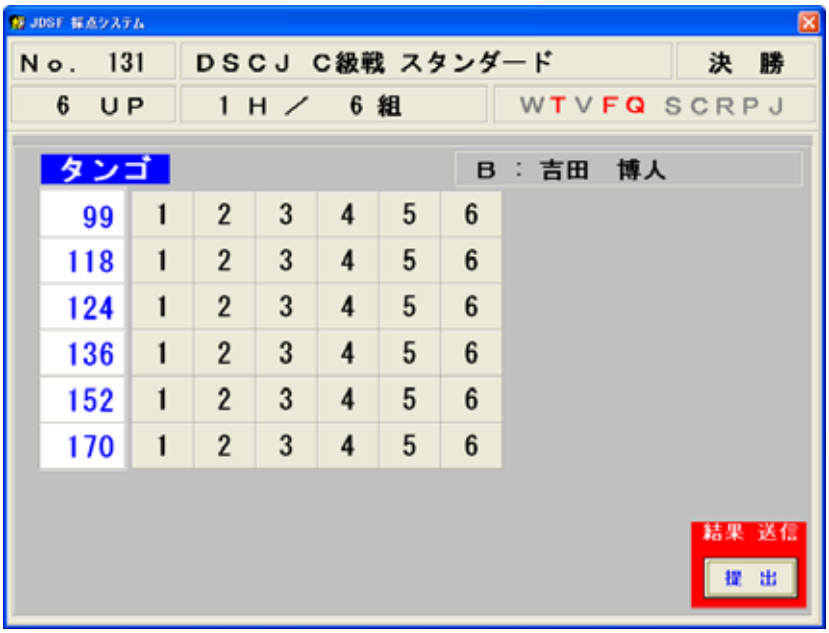
● 保留マークの有る選手をクリックした場合には、その時点で保留マークはクリアされます。

■ 決勝　（ 順位法 ）

1．　開始画面からジャッジ名の選択までは、予選～準決勝の手順と同じす。

2．　審査画面（決勝）

①　ジャッジ名選択が終わると、自動的に下の審査画面が表示されます。



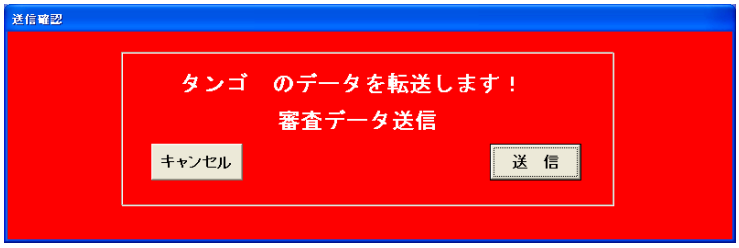
②　審査　（ 決勝　：　順位法 ）

- **順位入力：　つけたい順位の数字をクリックすると、下の画面のように順位数字が黄色に変わります。**
- **順位変更：　黄色くなった数字を再度クリックすると、順位取消しとなり黄色が消えるので、変更したい順位数字を再度クリックします。**

③　審査終了

● **審査完了**　：　**決勝参加組全部の順位を付け終わり、この順位でよいことを確認したら、画面右下にある『提出』ボタンをクリックします。**

● **データ送信**　：　**下の送信画面が表示されますので、『送信』ボタンをクリックすると審査結果が直ちに採点システムに送信されます。**

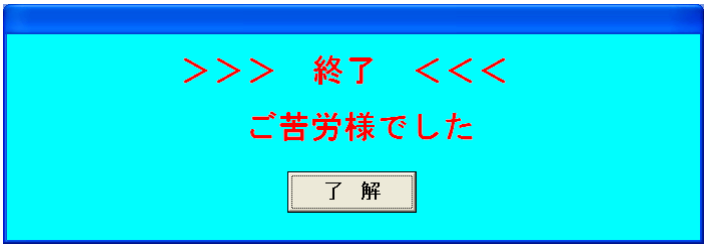


《 注意 》　**「送信」ボタンを押すと、審査内容は採点システムに取り込まれ、その後の変更は出来ませんので、よく確認のうえ、「送信」してください。**

● 送信後は次種目が有る無しによって変わります。尚、送信は瞬時に行われますが、場合によっては順番を待つ場合が有ります。少しお待ち下さい。

● **次種目へ**　：　**送信後次種目が有る場合には再び、次のダンスの第１ヒート目に進みます。**

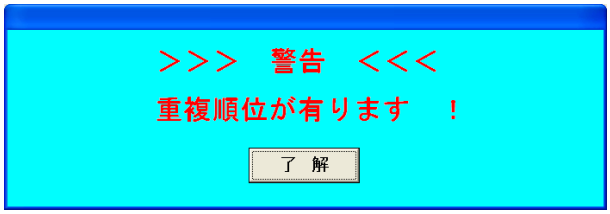
● **審査終了**　：　**全種目の送信が完了すると、下の画面が表示されて審査終了となります。「了解」をクリックして、最初の開始画面に戻ります。**



④　審査データが誤りの場合

● 上の例のように、4位を抜いた状態で「決定」をクリックすると、下のような「警告」が表示されるので、「了解」をクリックして、以前の審査画面に戻ります。

● 下の例のように、3位を重複して選んでいる場合に『提出』をクリックすると、下記のような『警告』が表示されるので、「了解」をクリックして、以前の審査画面に戻ります。



以 上